

レジメン登録フォーマット

申請年月日	平成30年9月12日	使用開始日	
登録診療科	消化器内科・外科	申請医師	福永 睦
レジメン名	アービタックス【2回目以降】		
疾患名	大腸がん	適応の備考	アービタックス2コース目以後の計画登録には、これを用いる。
適応分類	進行再発		アービタックス初回使用の患者の登録には、アービタックス【初回】を用いる。
1コース日数	7 日間	総コース数	コース催吐性リスI最小度
抗がん剤投与量・投与日 アービタックス250mg/m ² day1			
治療スケジュール・投与日程(投与日は●) (day)			

投与順	ルート・方法	薬剤名	投与量	投与時間	1	2	3	4	5	6	7										
1	主ルート	生食50mL	1 本 / body	15 分	●																
	点滴静注	デキサート注射液6.6mg/2mL	1 本 / body		●																
		ホラミン注5mg/1mL デキサート注は、3.3mgでも可	1 本 / body		●																
2	主ルート	生食250mL	1 本 / body		●																
	点滴静注	アービタックス	250 mg / m ²	1 時間	●																
		アービタックスと同量の生食を抜いてから混注する(合計250mLとする)																			
3	主ルート	生食50mL	1 本 / body	5 分	●																
	点滴静注																				
4																					
5																					
6																					
7																					
8																					

※並行して投与する場合は、コメントを入力する。(例: Rp2とRp3を同時に投与開始する。)

【投与上の注意】

- アービタックス: 希釈は生食のみ。総液量を250mLに調製。
- アービタックス: 前投薬として、アービタックス投与前に、ポララミン注及びデキサート注が必要。
- アービタックス: 投与終了後は、infusion reactionを観察するため、1時間の観察時間が必要であり、単独投与の場合は初回アービタックス投与後生食100mLを1時間かけて滴下する。
- アービタックス: 投与終了後は、本剤と同じ速度でラインを生食でフラッシュすること。
- アービタックス: 初回投与時は、400mg/m²を2時間かけて投与、2回目以降は250mg/m²を1時間かけて投与すること。
- アービタックス2コース目以後の計画登録には、これを用いる。
- アービタックス初回使用の患者の登録には、アービタックス【初回】を用いる。